

税関150周年記念 特別企画

見つけたよ。 **小中学生絵画コンクール** わたしの地域の税関



「税関イメージキャラクター」
カスタム君

財務省・税関は、明治5年11月28日（1872年）、今日の税関の前身である運上所（うんじょうしよ）から名称を「税関」と改められて以来、日本の貿易の健全な発展と安全な社会の実現に大きな役割を担い、2022年に税関発足150周年を迎えます。

このたび税関発足150周年を記念し、特別企画として、我が国の将来を担う小中学生に対して税関や貿易等をテーマとした絵画の制作を通じて、税関の役割や私たちの生活に欠かせない国際貿易等について関心をもっていただくことを目的として「小中学生絵画コンクール」を実施することとなりました。

対象

小学生の部（小学4年生～6年生）
中学生の部（中学1年生～3年生）

締切

2022.9.9（金）
当日消印有効

各賞

財務大臣賞（各部門）1名（計2名）

賞状及び副賞（図書カード2万円）、記念品

税関長賞（各部門）各税関1名（計18名）

賞状及び副賞（図書カード1万円）、記念品

日本関税協会理事長賞（各部門）各税関1名（計18名）

賞状及び副賞（図書カード5千円）、記念品

優秀賞（各部門）25名（計50名）

賞状及び副賞（図書カード1千円）、記念品

奨励賞（両部門の中から）150名

記念品



税関150周年記念 特別企画
小中学生絵画コンクール 特設サイト

<https://www.kanzei.or.jp/nagasaki/customs150.htm>

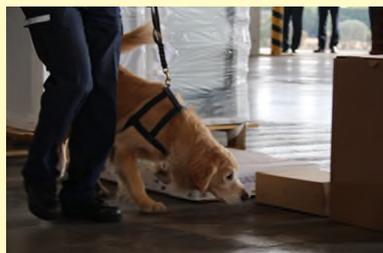
税関の仕事、税関の建物、港、船、空港、飛行機など、 税関や貿易に関するものを描いてみませんか？



日本の産業の発展を見守り続けて—外国貿易に携わる税関の歴史は近代日本の産業の歴史でもあります。現在では建て替えられたものが多いですが、中には90年近い歴史がある税関の建物もあります。



海上パトロールで国民の安全を守る—密輸貨物は反社会勢力の資金源になったり、みんなの健康を害するものもあります。これらを未然に防ぎ、国民の健康や安全を守るのも税関の仕事です。



麻薬探知犬が検査で大活躍！—イヌは人間とは比べものにならないくらい優れた嗅覚の持ち主です。その抜群の嗅覚で、輸出・輸入貨物や海外旅行客の荷物に隠された麻薬などを見つけ出します。



輸出入貨物の通関は貿易の最前線—日々さまざまな貨物が日本から輸出されたり海外から輸入されたりします。税関ではこれらの貨物に必要な検査をして適正な通関を確保し、安全・安心な社会の実現を目指します。

応募方法など詳しくは裏面または、特設サイトをご覧ください。

共催：公益財団法人 日本関税協会長崎支部／財務省・長崎税関



